

# 住宅用家屋証明願

令和 ○年 △月 □日

(あて先) 野田市長

申請人 住所 野田市東宝珠花 237 番地 1

氏名 野田○○司法書士××××

租税特別措置法施行令

- (イ) 第41条 { 特定認定長期優良住宅又は認定炭素住宅以外  
(a) 新築されたもの  
(b) 建築後使用されたことのないもの  
特定認定長期優良住宅  
(c) 新築されたもの  
(d) 建築後使用されたことのないもの  
認定低炭素住宅  
(e) 新築されたもの  
(f) 建築後使用されたことのないもの }
- (ロ) 第42条第1項 (建築後使用されたことのあるもの)  
(a) 第42条の2の2に規定する特定の増改築等がされた家屋で宅地建物取引業者から取得したもの  
(b) (a) 以外

の規定に基づき、下記の家屋

{ 令和 ○年 △月 □日 { (ハ) 新築  
(ニ) 取得 } } が

この規定に該当することを証明願います。

記

建築主又は取得者	住所	野田市鶴奉7番地の1					
	氏名	野田 太郎					
家屋	所在	野田市 鶴奉7番地1					
	家屋番号	7番1					
	構造	木造スレート葺 2階建					
	床面積	1階	48	m <sup>2</sup>	2階	32	m <sup>2</sup>
	取得の原因 (移転登記の場合)	(1) 売買	(2) 競落				
家屋取得者の居住	(1) 入居済	(2) 入居予定					
区分建物の耐火性能	(1) 耐火又は準耐火	(2) 低層集合住宅					
工事費用の総額 (ロ) (a) の場合に記入					円		
売買価格 (ロ) (a) の場合に記入					円		

上記のとおり相違ないことを証明する。

野企課第 号

年 月 日

千葉県野田市長 鈴木 有

#### 【備考】

- 1 { }の中は、(イ)又は(ロ)のうち該当するものを○で囲み、(イ)を○で囲んだ場合は、さらに(a)から(f)のうち該当するものを○で囲み、(ロ)を○印で囲んだ場合は、さらに(a)又は(b)のうち該当するものを○印で囲むこと。
- 2 「新築年月日」の欄は、(イ)(b)、(d)又は(f)を○印で囲んだ場合は記載しないこと。
- 3 「取得年月日」の欄は、所有権移転の日を記載すること。なお、(イ)(a)、(c)又は(e)を○印で囲んだ場合は記載しないこと。
- 4 「取得の原因」の欄は、上記(イ)(b)、(d)若しくは(f)又は(ロ)を○印で囲んだ場合に限り、(1)又は(2)のうち該当するものを○印で囲むこと。
- 5 「家屋取得者の居住」の欄は、(1)又は(2)のうち該当するものを○印で囲むこと。
- 6 「構造」の欄は、建築後20年超25年以内に取得された家屋について証明を申請する場合に記載し、当該家屋の登記記録に記載された構造を記載すること。
- 7 「区分建物の耐火性能」の欄は、区分建物について証明を申請する場合に(1)又は(2)のうち該当するものを○で囲むこと。なお、建築後使用されたことのある区分建物の場合、当該家屋の全部事項証明書(登記簿)に記載された構造が、石造、れんが造、コンクリートブロック造、鉄骨造、鉄筋コンクリート造、又は鉄骨鉄筋コンクリート造であるときは、(1)を○で囲むこと。
- 8 「工事費用の総額」の欄は、(ロ)(a)を○印で囲んだ場合にのみ、租税特別措置法施行令第42条の2の2第2項第1号から第7号までに規定する工事の種別のいずれかに該当する工事の合計額を記載すること。
- 9 「売買価格」の欄は、(ロ)(a)を○印で囲んだ場合にのみ、当該家屋の取得の対価の額を記載すること。